

【教育学専攻】

<教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）>

本専攻では、専門科目のカリキュラム全体を、大きく、①教育学の学問的構成に関する科目群、②教育学の方法論に関する科目群、③教育学の研究指導のための科目群、という三つのカテゴリーに分類している。

まず①については、教育学の基礎理論を講ずる「教育学概論」を基盤に据え、その上に「教育哲学」「教育史」「比較教育学」「教育心理学」の各分野をいわば4本柱として組み立てている。「教育哲学」（開設科目名は「教育学史」）では教育哲学上の諸学説と欧米教育思想史が講ぜられ、「教育史」では日本の教育の歩みが思想史的あるいは実証史的に考察される。また「比較教育学」では大学や高等教育の諸問題がグローバルな視点から比較分析され、さらに「教育心理学」（開設科目名は「教育心理学概論」）では教育に関わる心理・行動的形質並びに社会的諸現象に対して発達の、学習的、認知的、進化的、遺伝的視点から実証的な探究がなされる。4本柱の各分野には、それぞれ4つの「教育学特殊」がより特化した研究の科目として配置されている。

②については、「教育研究法」「教育測定実験」によって実験・調査・統計分析などの実証研究の方法論が学ばれ、「教育学文献研究」によって文献研究（英語・ドイツ語文献の他に日本の古典文献の講読も行われている）の方法論が学ばれている。

さらに③については、「教育学原典講読」（2年次）にて英語文献の講読によるゼミナールへの導入的演習が行われ、「教育学演習」と「教育学研究会」（3、4年次）において各種のプロジェクト研究とともに、各学生に対する卒業論文の研究指導が行われている。